

渥美半島越戸大山・ヘリコプター離発着訓練場計画 要望書

渥美半島大山無線中継所跡地の陸上自衛隊ヘリコプター離発着訓練場計画に対する要望書

2003年10月10日

防衛庁長官宛

防衛施設庁長官宛

日野鳥発第48号

平成15年10月10日

防衛庁長官 様

防衛施設庁長官 様

東京都渋谷区初台1-47-1

小田急西新宿ビル1F

財団法人 日本野鳥の会

会 長 小 杉 隆

**渥美半島大山無線中継所跡地は陸上自衛隊ヘリコプター離発着訓練場とするのではなく、
渥美にふさわしい森に回復できるよう、ご尽力下さることをお願い致します。**

愛知県田原市と渥美町境の越戸大山（おっとおおやま）山頂近くにある「陸上自衛隊大山無線中継所」が不要になったため、取り壊して、その跡地約1000平方メートルを三重県の陸上自衛隊明野航空学校のヘリコプター離発着訓練場として使う計画があると伺っております。

越戸大山一帯は三河湾国定公園第3種特別地域に指定されており、中腹の神社一帯には第1種特別地域に指定された原生林も残されているなど愛知県有数の照葉樹林帯となっております。

この山林一帯（渥美山塊）ではこれまでにタカ類のハチクマ、サシバ、オオタカの繁殖が確認されており、山麓では毎年繁殖期にサンコウチョウ、オオルリ、ヤブサメなどの夏鳥が観察されているとのことです。

伊良湖のタカ・小鳥類の秋の渡りは大変評判になっており、シーズン中には何千名というバードウォッチャーが訪れます。8月から11月にかけて何万・何十万羽、百万羽を越えるかも知れないタカ・小鳥類が適宜休息しつつ通過して行くのは、まさにこの越戸大山を含んだ山林一帯です。冬には同じくタカ・小鳥類が数多く越冬しています。

哺乳類もニホンリス、テン、アナグマ等 12 種類が確認されていると公表されています。

このような山林の頂上をヘリコプターの離発着訓練場としますとタカ・小鳥類の繁殖や渡り・越冬、哺乳類の生息に悪影響が出ることは避けられません。

また、大山一帯は山岳会関係の各種出版物にも、手軽で良好なハイキングコースとして紹介されており、渥美郡内はもとより県内外の多くの方々が登山やレクリエーションに親しんでいる所です。

地域の保育園児や小中学生の遠足にも利用されてきているとも伺っております。

このような山林でのヘリコプター離発着訓練場計画は白紙に戻し、無線中継所跡地は渥美にふさわしい森に回復できるようご尽力いただけますことを、強くお願いいたします。